

会長退任にあたって

公益社団法人 日本証券アナリスト協会
前会長 小池 広靖 CMA



会長退任にあたり、ご挨拶申し上げます。

2021年8月からの2期4年にわたり、会長を務めさせていただきました。

振り返りますと、グローバルなダイナミズムに満ち溢れた4年間であり、このような時期に会長を務めさせていただいたことは大変貴重な経験であったと思います。

2021年の就任時は、コロナ禍の猛威が世界を襲い、金融市場のみならず私たちの生活すら脅かされ、日常生活もままならない状況でした。

2022年にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、いまだ終息を迎えることなく戦闘が続いています。

パンデミックを始め、多くの地域で相次ぐ紛争と政情不安を背景に2023年の世界経済は低迷を続けました。特に昂進するインフレは金融資本市場の不透明感を増幅させていくこととなりました。

一方、2023年は政府主導による資産運用立国実現プランがスタートし、我が国の金融資本市場において大きな転換点を迎える年となりました。

資産運用立国実現プランは、個人の貯蓄を投資に回し、リスクマネーの供給を増やす。そして日本経済の成長力を高めることで個人の資産所得を増加させ、所得と成長の好循環を目指すことを目的とした政策です。

インベストメントチェーンを軸に、「資産運用業の改革」「アセットオーナーシップ改革」「スチュワードシップ活動の強化」「成長資金の供給と運用対象の多様化」「対外情報発信・

コミュニケーションの強化」等が柱となり、新NISAの恒久化など具体的な施策も導入されました。パンデミックが収束に向かう中で、資産運用立国実現プランは国内外の投資家からの注目を大きく集めました。その結果、世界的な景気回復期待も相まって、日経平均株価は1989年の史上最高値を更新しました。日本の株式市場は実に34年の時を経て、新しいステージに向かい歩み始めました。このような環境の中で、CMAを取り巻く環境は大きく変化しています。

パンデミックがCMAの皆さんの働き方を大きく変えたのは間違いありません。デジタルライゼーションやAIの活用はアナリスト業務の進め方を大きく変えました。膨大なデータから適切な回答を導くことができるAIは、業務の効率化に大きな変革をもたらしています。一方で、AIの進化はアナリストの付加価値を何に求めるべきかという問いを投げかけています。

新NISAの導入により、多くの国民が投資に関心を寄せ、投資を始めています。そこで資産形成コンサルタント資格の導入も行いました。この資格は主に金融機関において資産形成を案内する職員の方を対象にしています。資格制度導入後1年間で6,000人強の受験者が集まり、需要の強さを実感しております。資産形成の普及には、金融商品を取り扱う金融機関の職員の方々のコンサルティングリテラシーの向上が不可欠となります。その底上げの一助としてご活用いただき、健全かつ適正な資産形成の普及を期待します。

プライベートアセットの登場は投資家に新しい投資機会とポートフォリオの多様性を提供すると同時に、今後はそのバリュエーションについてもCMAの皆さんの活躍が期待される場所ではないでしょうか。人的資本経営において人的資本をどのように企業価値に反映させるかなど、invisibleな資産価値の算定も今後の大きな課題です。今後は、より深淵なるバリュエーションに関するテクノロジーの進化が求められCMAの社会的責任も大きくなっていくと思います。

東京証券取引所が要請する資本効率を意識した企業経営を実践し、投資家との対話により企業価値の向上に結び付けるには、金融機関のアナリストだけでなく、企業の経営・財務部門においてもCMAの知識が不可欠となります。金融機関をはじめとする投資家と投資先企業の双方が、高い専門性を裏付けに議論を繰り広げながら、企業価値の向上をもた

らす時代がいよいよ切り拓かれようとしています。

個人投資家を中心とした幅広い裾野拡大、プライベートアセットやバランスシートに反映されない企業価値のバリュエーション、金融機関にとどまらない幅広いステークホルダーへの拡大など、資産運用立国の実現に向かい、CMAの活躍の場は確実に広がっていきます。

会長就任以降の不透明かつ激動の世界情勢の中で、当協会が変化に柔軟に対応し、日本の資本市場の牽引役となれますよう様々な取り組み、情報発信を心掛けて参りました。こうした取り組みが微力ながら皆様のお役に立つことができているならば幸いです。末筆ではございますが、4年にわたり当協会にご指導、ご支援をくださいました皆様に心より感謝を申し上げますとともに、CMAの皆様の益々のご活躍、そして日本証券アナリスト協会のさらなる発展を祈念いたします。4年間、本当にありがとうございました。

(小池氏は、2021年8月から25年8月まで当協会会長を務められました。)